

目標達成計画

作成日: 平成 22年 12月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○モニタリング 介護計画の作成については、実施できているが、評価については、十分にできておらず見直しが不十分である。	早急にモニタリング様式を作成し、3ヶ月に1度の評価を実施する。評価作成時は、職員間で検討し、評価していきたい。	様式を作成、3ヶ月に1度、評価を実施。評価方法はGH会議を活用し、職員間の情報共有し、評価の活用に取り組む。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 2ヶ月に1度、開催しているが、認見者・評価委員・主治医等の参加ができていない。会議の内容については、活動報告が多く、会議を活かした取り組みが不十分である。	運営推進会議の参加者を増やしていきたい。また、会議の内容については、毎回議題を作り、参加者と意見交換をしていき、サービス向上に繋げたい。	運営推進会議の参加者について、識見者・評価委員・主治医等に参加要請を行い、参加していただけるように努めていく。会議の内容については、家族にアンケートを実施し、会議の内容や課題に反映していきたい。	6ヶ月
3	2	○事業所と地域のつきあい 地域イベントへの参加やボランティアの受け入れ等、以前に比べ交流回数は増えているが、日常的な交流はできていない。	できるかぎり地域イベントに参加し、地域交流に努めていく。町内会や老人会との交流も目指していきたい。	民生委員と連携を取りながら情報収集を実施していき、地域交流の回数を増やしていく。町内会や老人会との関わりについては、地域の集いに参加し、関係作りに努めていく。	6ヶ月
4	6	○身体拘束をしないケアの実践 交通量の多い道路に面している為、家族同意のもとに玄関を施錠している。なるべく昼間は施錠しないケアを実施しているが、完全にはできていない。	昼間の施錠をなくすケアを実施していきたい。	玄関の管理方法(ブザー等)の変更や日常介護の見直しを検討し、施錠をなくしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。